京城新報

●新聞料 ▲一部二錢▲一ヶ月前金[illegible]●三ヶ月前金[illegible]▲郵稅一ヶ月金拾貳錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 十一月三日
發行兼編輯人 印刷人 山下英爾
京城西署西小門通
發行所 京城新報社 電話六六三

論說

殖民及び殖民地財政（上）

本多精一

殖民銀行機關の公設に次て無かる可らざるは拓殖機關の設立に在り。資本の融通蓋し其の第一に居らん而して殖民地の產業は如何なる國と雖も農業を以て第一次と爲すが故に資本の融通は自から長期低利、出來得べくんば農業の利益を以て年々歲々崩濟償還の便法に依る特種の金融法を案出するを以て最善の手段と爲す場合に依りては農具の貸與若くは家屋の建築資金融通の法をも併せて之を講せざる可らず聞くが如くんば韓國の拓殖を目的とする一大會社の既に計畫せられたるものありと云ふ、未だ其の組織及び營業科目の仔細を審にせざるが故に豫じめ是非の利斷を試むること能はざるも贊否の論は姑く之を後日に保留し兎も角も相當なる拓殖機關の存在は殖民政策上絕對の要件として紹介機關の必要と共に之を認識せざるを得ず。是れ紹介機關公設の希望に伴ふ論理上必要の要求と謂ふべきのみ、殖民地の民政を論ずるは本論の趣旨に非るが故に之を省き殖民地の財政策に關し先進殖民國の嘗て採用し今に尙採用しつゝある若干の實例を求ること亦殖民政策研究の一助たらずとせず、蓋し殖民政策の消長は母國政府の殖民地財政に對する政策の如何に原因すること尠からざるは世界に於ける殖民發達史の明かに立證する所なればなり、英國の學者政治家にして殖民地の財政策を論ずる者概ね英佛兩國の政策を對照して曰く、佛國の殖民策は常に吾等の方針に背馳しつゝあり、アルゼリア、チュニス、マダガスカル、交趾支那其の他に於て、佛國政府の採用せる方針は要するに殖民地より生ずる利益を擧げて自己の專用に備へ他國の國民をして何等の利益均霑に與からしめざるに在り此の目的を達せんが爲に直接の手段としては佛國政府は殖民地に對して特惠關稅法を適用し兼て又間接の手段として外國々民の殖民地內に於て經營する商工業に對して種々の妨害手段を講ずるを以て常と爲すと同じく殖民地の財政經濟策と曰ふも英佛兩國の政策に至りては斯の如く方針の既に明かに背馳するものあり其の明かに背馳しつゝある所は即ち帝國今後の政策に關して學ぶべき餘地の存する所以たらずんばあらず、佛國の殖民地財政策を概說すれば佛國政府は正に二個の異樣なる方針の間に彷徨しつゝあるもの如く、一方に於ける殖民地の自治的運動の結果は殖民地をして自己の歲入財源及び歲出を決定せしむべき權利を承認せるものありと雖も他の一方に於ける中央集權若くは殖民地の同化的運動の結果は植民地に對して其の關稅率を定むるの特權を剝奪せるのみならず殖民地の稅制に關しては母國の利便を主とする干涉を敢てせしめ或種の歲出は母國政府之を殖民地に强制し母國政府と殖民地との干繫は一方に於ける補助金政府と他方に於ける經費の强制政策との爲に非常なる複雜を免かるゝこと能はず故に殖民地財政に關する佛國の學者政治家中母國と殖民地との干繫を單純にし殊に殖民地に對し今一層獨立自主の權利を附與せんことを主張する者尠なからず、

英國の植民地財政政策に至りては極めて單純なりとす、その植民地として微小なる而かも其の發達未だ十分ならざる者に對しても英國政府は常に植民地の財政的自給主義を取り、或る場合に於ては母國政府は殖民地政府起債の時に於て特に助力の恩惠を與ふるありと雖も是れとて後日の償還を豫期して以て一時の財政的援助を與ふるに過ぎず而して母國政府は植民地の保護に必要なる軍備の經費に對しては之が支辨を植民地に求むるを以て法則と爲し唯英帝國全般の利害に干繫ある軍港要塞の經費は之を母國政府の負擔と爲すのみ斯の如く植民地に對して何等の特惠を與へざると同時に母國政府も亦植民地より何等の恩惠を强請することと無く佛國の殖民地に對する特惠關稅率の如きは之を施すこと無くして以て今日に至れり唯加奈陀に於ては母國の輸入品に對しては關稅定率の二割五分を輕減しつゝありと雖も是れとても母國政府が加奈陀よりする輸入品に對して特に利便を與へつゝある點より見れば寧ろ兩者の間に於ける互惠的協定に屬し英國政府の植民地に對する一般原則を動かすものと謂ふ可からず要するに植民地財政の自給は英國政府の政策中其の主眼とする所而して又今日の成功を致したる所以と觀察せざる可らず、

北老爺嶺（山脈）大森林及雪中縱斷記（三）

黑衣仙

二日目から愈々大森林に掛かる、三十日午前八時三十分大蘆屯を發して南へ〜と法別河を縫つて步くと間もなく黃楡、椴、胡桃、樺、どろの木などの中を過ぎて進むに從つて鍼葉樹を增すと同時に次第〜に密生せる林間に入る、谷地が塞まつて峽間となり、何時ともなしに奧へ〜と連込まれるのは、恰度汽車が掘割を通つてゐるかと思ふと乃がてトンネルの中に這入るやうなものだ、冬の林は齒の落ちた老人の如に影薄れて何處となく物寂しう、枝が下に垂れてゐる紅松、杉松などいふ寒國の樹は見るさへ一種の感想を與ねる。今迄二寸ばかり外なかつた雪は林に入ると五寸程になつて、日が當らぬ勢か淡雪の如に軟い、都べて斯う云ふ雪割の種を雪を排けながら急いでゆく、此日は前日と打つて異つて、風も吹かず冬の日には珍らしい天候で、蒼い啄木鳥が鳴きながら朽木を叩く音が幽かに聞ゆるなど、長閑と云へば長閑である。頭道關門磊子を過ぎて二道關門磊子に着いたのが午後の零時三十分で、玆に晝食を濟まし一時三十五分に出發して關米溝子、新開河を經て老爺嶺に差懸ると、最う日の暮に近いた。二道關門磊子といふのは人家十二戶ばかりの小部落で、老爺嶺以南の地方から良材が出るので、此日も凡そ二十輛の馬車に製材を積んで途中の開店に馬夫共が晝休みを仕てゐたのに出會つた、材木は都べて板に仕立てゝ此附近から官街、黑石頭を經て磐盤山、吉林に又は朝陽鎭、海龍府に搬出するのである。新開河を過ぎると、疎な濶葉樹林で、左手に當る山は骨を表はし、其下を法別河が流れて危峰將に墮ちんとする狀がある、鳥渡景色の好い所ろ、此所を新開河口と名けて之から老爺嶺に懸る、道が二つになつて、一は同じく老爺嶺の一小峠を踰えて直に陽岔に達し、更に南の方深山大甸子に通ずるので、自分等が擇んだ那爾轟の小西北岔に出る道よりは凡そ一日行程の利ありと云ふ、老爺嶺は法別河と那爾轟河との分水線で、嶺以北を法別と云ひ以南を那爾轟と云ふ、大蘆屯は前者の小地名、小西北岔、西南岔、那爾轟口子は後者の小地名。さて嶺に差掛ると日が暮れて、爪先上りに自然と高くつて、薄暗闇を石や木の根に躓きながら辷り〜覺束なくも廻つてゆくと、十五夜の月影が朦朧と見えて頂上と思ふ處に出た、下りは急勾配になつて、步くと云ふよりも寧ろ轉げて下りてゆく、自分等は疲

木浦丸の火災

去る一日午前六時群山碇泊中なりし大阪商船會社の木浦丸にては船倉より火を發し折柄積込みありしボイル油に燃ゐ移り黑煙を揚げたれば乘組める船客の狼狽一方ならず恰かも海上平穩波浪なかりし爲附近に碇泊せる水船又は剛平船に乘客を收容上陸せしめ人命に損傷なきを得たるが此時陸上にも火災と分かりたれば消防夫警官と共に馳せ付け船員と協力消火に力めたる結果一時間にて鎭火したり此の火災は一時仲々の混雜なりしも積荷の損傷したるは木浦揚支那人の反物數個の外日韓人の荷物にて損害金は二千圓にて止まり船体にも損傷なかりければ午後三時出港木浦、釜山、馬關、神戶を經て大阪に向ひ出帆したり其損害に就きて聞く處によれば右火災の火元たる中甲板船艙附近ストルームに相隣して積込みありしは仁川より木浦釜山行の韓人向雜貨にして火災の爲め燒失したるは二三個なるも浸水したるものを合すれば九十個に上り損害も二千圓前後に達する由なるが荷主は多く淸韓人なりといふ本浦丸に火災起りたるにつき群山郵便局にては土屋局長直ちに部下と共に出張し仁川局より積みたる郵便行囊十五個を無事本局に收容し全部被害を免れたるが群山局仕立の郵便物は同船には一個だに積みあらざりしと云ふ

仁川輸入統計（自七月至九月間）

品目	國別	金額
綿布及綿糸	英國	八二七、九八二圓
	支那	二三六、三一〇
	日本	七〇、八一三
	露國	二、九五九
	獨逸	一、四一八
	米國	一一〇
	合計	一、一三九、六〇一
絹毛製品	支那	二二一、一八七
	日本	三三、七六五
	英國	二一、四三七
	獨逸	二五〇
	米國	六
	其他	一二五
	合計	二七六、七七〇
飲食料品	日本	三一一、六一六
	支那	二八、六二六
	米國	二三、六七三
	英國	八、四八五
	佛國	六、七六六
	獨國	一、六六九
	其他	二二
	合計	三九〇、八五七
金屬類	日本	一四二、四三四
	英國	六五、四六五
	米國	四二、二五五
	獨國	五、五八七
	支那	五、五七五
	其他	四九九
	合計	二六一、八一二
諸雜品	日本	一、四二七、五六四
	米國	七〇一、八九一
	英國	一〇三、九五一
	支那	一六八、四二五
	獨逸國	二七、七〇〇
	諸國	四、三三九
	其他	六、七二六
	合計	二、四三九、三二六
日本より輸出國別	英國	一、九八六、一九二
	米國	一、〇九一、七九一
	支那	七六七、九三五
	獨逸	六〇五、六五八
	佛國	三六六、六二四
	露國	七、四九六
	諸國	二、九五九
	其他	六、三二九
		七、三七二
	合計	四、五〇八、三五六

海務局の新設（一般漁船の檢査を行ふ）

關東都督府にては愈よ都督限りの職權を以て海務局を新設する旨去る二十九日の府報を以て公布したり即ち海務局は港務、海港檢疫、船舶の檢查、船員の雇入雇止契約の公認及公認證明其他一般海事に關する事項を掌らしむる爲大連に置かるゝものにて其職員は都督府職員を以て之に充てらるべく尙關東州漁船檢查規則を發布し關東州の沿岸又は港灣內を航行し又は關東州を起點とし外國に航行する本邦漁船並に關東州に住所を有する支那人所有の漁船並に右に該當する借入外國船は必ず海務局の檢査を受け檢査證書を受有すべく違背したるものは制裁を付せらるべき旨規定せらる

文苑

水原慶夫

霜
霜おきていたゞき白し屋の棟の死の鬼もわれいやしぬらむ

冬月
霧おろし音せずなりて窓の外にしら〜しくもさゆる月かな

氷
冬ふかき北の海づら死斯寂れてかゞやく山は氷なりけり

冬花
菊の後なしといひしを咲きにけり冬ふかみ草水仙の花

冬夜
埋火の灰に成るまでかたらへどまだ夜中には程はありけり

冬庭
鵯鳥のこゑも聞こゑて南天の赤らぬ庭に霜けぶるなり

小說　紘のみだれ（二十二）

永井櫻園

近午の太陽は長閑に照り渡つて、草や木からは蒸發氣が煙のやうに立昇つて居る、折しも上品な白鬚を延した老翁が此方に進むで來かけたが、山田等兩個の姿を見ると、間の惡さうな顔して、引返して了つた。兩個は言合したやうに顔を見合つて微笑したが、濟之助は

「何と思つて引返したんでせう、妙な老人さんね。」

「若い兩個が腰を掛けてるから、何とか思つて粹を利かした意なんだらう。」

「然うでせうか、年老に氣の毒爲ましたのね。」

「だつて、先方が勝手に引返したんだから致方がないさ。まあ、それは宜いとして昨夕の夢の話を聞かして呉れないか、私が奈何した夢を見たんだね。」

「ではお話し爲ますけれど、お笑なすつちや可厭ですよ。」

と、嫣然する。

「何で笑ふもんかね。」

と、山田も微笑する。

「ちやお話致ますか、夢ッてものは眞箇笑止い事を見るもんですのね。」

と、又極惡るげに

「お笑ひなすつちや可厭ですよ。」

と、再び念を推して

「私、貴方の家へお嫁入して赤坊が出來た夢を見ましたの、すると貴方のお宅で大變御立腹なすつて、私を離縁して了へば宜しい、若も一緒に居るやうな事なら、勘當して了うつて仰やるんでせう。だから私は貴方へお氣の毒ですから、御縁がなかつたものと締めて、どうかお暇を下さいつて頼むのです。すると貴方の仰やるにはお互に好き合つて夫婦になつたんだもの、誰が何と云はうと管うものか、勘當すると云ゃア勘當されるまでのこと、今更別れたりなんかされるもんか、何も心配せずに居るが可いと和しく言つて下さるんでせう、だもんですから余り嬉しくッて涙が溢れたと思ふと、ふッと目が覺めて了ひましたの。妙な夢を見るもんだ、奈何して那樣夢を見たんだらうと、ツイ種々な事を考へ出して、何だか知らないけれど、貴方にお目に懸りたいやうな氣がして、いかにも辛抱が能なくなつたもんですから、それで、歌の文句ぢやありませんけれど、逢ひたさに用も無き門を二度三度通つて見たんですよ。隨分圖辻々々しい女だと、お愛想が盡きるでせう、ほゝ」



と、話すは話したものゝ、余程極が惡かつたのであらう、ぱうと顔を赤くして額の邊には汗さへ滲み出て居る。山田は吸ひかけた卷莨をポイと捨てゝ

「妙な夢を見たんだね。」

と、笑ひながら

「奈何して那樣夢を見たんだらう、昔から夢は五臟の煩とさへ云ふほどで、滿更思はなかつたり、見なかつたり、聞かない事を見るもんぢや無いが、實に不思議だ……。」

「眞箇變な夢ですわね。」

と、濟之助も微笑する。

「しかしだね、濟ちやん……若も誰か濟ちやんに首ッたけと云ふ熱心で居て、夢のやうな間になりたいと云へば、濟ちやんは奈何する意だ、必然可厭だと云ふだらうね。」

と、莞爾して其顔を見る。

「ですけれど、私のやうな者を其ほど思つて下さる方は無いんですもの……。」

「が、あれば奈何する。」

眼中に日本無し

(京城新報)

過る四日の夜伊藤統監は留別の意味を以て副統監以下を其官邸に招き晩餐を共にしたり而して公が該晩餐會に於て爲したる席上演說は或意味に於て統監が部下に對する一種の內訓とも見るべきものにして余輩と雖も輕々に聞捨すべきものに非ざるなり、公曰く

諸君は諸君の職務を執行する際に於て日本の利益を念頭に置くの要なし如何となれば予の職務は韓國の爲に計るにありて諸君が主要の職分も亦之に外ならざればなり

左なきだに伊藤公の似而非世界主義にかぶれて動もすれば居留邦人の利益を度外視するの傾向ある統監府官憲に向て公自ら出發前に於て是等の言を爲す居留民の利益は之より益危難に陷るものと云ふべし

左るにても統監は胸中の秘を開きたり豫て堅持する韓國本位の本音を吹きたり余輩は此本音を默して謹聽するの義務ありや否

女學校の設立を賛す

(巧遲よりは拙速を尊ぶ)

吾人は曩きに現下當居留地の情勢上「中學校を急設せよ」との題名の下に諄々說く所ありしが、當時尚引續き女學校設立の急務なるを感ぜしものあり、而して爾來當局者に於ては之が設立に就て着るしく計畫の歩を進め既に過日の民會に於て彌々之が發表の機を見るに至りたりといふ、思ふに女學校の現實する決して遠きにあらざるべし

余輩は當局者が女子敎育に就ての心勞に對し深く感謝の意を表するものなり、玆に吾人が當局者に向つて只一言の禁ずる能はざるは、其の之が該校の設立に付き、始めより餘りに事を要費用的にせざるにあり、固より完全なる校舍を造り規模の宏大と設備の圓美とを期するは是れ實に結構なる事に相違なきも莫大の入用を掛けてまでも完全を期するは目今居留地の事情果して之を許すや否

余輩は常に何事にまれ巧遲よりは拙速を尊ぶもの、今回の女學校設立に就てもまづ差當り外觀よりは實質を重んじ假校舍を以てしても彼等就學の途に迷ふの子女をして一日も早く就學し得るの便を與ふるこそ時宜に適ひたる措置ならんと信ずるなり、而して校舍の完全と規模の宏大とを期するが如きは是れ漸を追ひ序に從つて遂行するも又不可なからんと信ずるなり

要するに今の時に余輩が當局者の擧に贊すると同時に特に望むところは現下民團財政の許す範圍に於て一日も早く問題を現實にせんことにあり、當局者たるもの鋭意事に當らば何すれぞ成効を疑ふの余地ある、余輩は就學せんとする子女と共に指折り數へて當局者の施設を待つものなり

加奈太首相の演說

(東京電報)

加奈太首相は三十八人の議員に向ひ日本は英國の同盟國なり余が政府の首位にある限り日英條約を毀害するが如き如何なる行動をも承認せずと說けり(六日發)

第二回會見

加奈太勞働大臣は今日外務省に出頭し林外相、珍田次官石井局長と會見第二回交涉ありたり

判任官行賞

宮內、文部、農商務、陸軍省、判任官二百八名に對する論功行賞發表せられたり

倫貝子着京

淸國親王大使の一行は本日午後着京せり伏見宮殿下を始め外務省官吏及び特派爾哈王外淸國留學生等多數の出迎ありて芝離宮に入られたり(以上五日午後發)

新官制の消息

(雜報)

豫て報道したる如く新官制の編成に就ては韓國各大臣側において異議少なからざりしが統監の出發前漸く調停成立せし由なるも尚豫算の點において全然各大臣の首肯するに至らざれば此所十餘日の內には發布の運びに至らざるべく各官衙における事務は目下中止の姿にて新官制發布を待てそれ〳〵行動せん豫定なれば各官衙とも昨今閑散を極むるもの〻如し

明年度の豫算支途

韓國政府にては目下編成せる豫算に對し到底その支途なきを以て一時第一銀行より借り入れをなすの外なく昨今當局者において交涉中なりといふ

海關脫稅者

數日前本紙が報導したる海關脫稅事件は目下其筋にても秘密に取調中なりと傳へらるゝ因に脫稅犯罪嫌疑者中には官吏及之と關係を有する商人尠なからずと云ふ

●津輕伯歡迎會　當地在留の舊津輕藩人士は舊主津輕英麿伯の歡迎を兼ね來る八日を以て日本人倶樂部に於て同鄕人親睦會を催す由なり、因に發起人は佐々木三郎、藤田謙一、花田節の三氏なりと云ふ

●理事官晩餐會　三浦理事官には有志者及新聞記者を招待し來る九日午後六時日本人倶樂部に於て晩餐會を催す由

●スチーブン氏の晩餐會　スチーブン氏は昨日自邸に晩餐會を開き副統監を初め韓國元老及各大臣、各次官、參與官、長谷川大將以下十數名を招待したりと

●徵稅機關整頓　徵收機關漸を逐ふて整頓し諸稅の納入も益々完全に近くを得るもの如く今其一班として慶尙南道に於ける成績を見るに該道は例年地稅の收入額は其調定額の約七割に相當し欠損額其三割に居りしが當年十一月現在に徵すれば其欠損額晉州區域に於て一割六分、密陽區域に於て一割五分八厘、昌原區域に於て四割九分、平均二割五分に相當せり更に此の欠損の類別を見れば從來欠損三割の內吏逋二割三分七厘、滯納二厘、陳廢結五厘、災害四厘に相當せり是れ徵稅機關の整備に伴ひ歲入の確實を期し得べき一證となすべし

●新貨普及と葉錢　葉錢相場の暴騰は所在奸商をして種々の畫策をなすに至らしめ特に秋期納稅の時に際しては猶は一層の暴騰を見るべしと豫期し到る處買占貯蓄を行ひ流通額を減少せしむるを致せしが爲め愚昧なる韓人は之を以て新貨の下落となし却て新貨を疑ふものありしも晉州の如きは財政顧問支部より一般に公示し總ての納稅は新貨を以てすべき旨を諭し此趣旨近頃に至りて民間に普及せしと見へ交換を申出づるもの接踵し特に納稅期に於て新貨の需要增加したれば葉錢相場に動搖を來し永く二十四五割を維持したるもの十一月末に至りては忽ち二十一割に低落し之が爲に買占貯藏して時を待ちたる奸商等は非常の恐慌を生じ其善後策に就き協議中なるも別に良法なく已なく之を釜山に輸出し放賣せんとするものあり以て其恐慌の狀を見るべしされば同地支部は此機に乘じて新貨を普及せしめんとし同地農工銀行をして新貨の模型を作り並に換算率を說明し之を一般に布告せしめ大に二十割交換を獎勵せしめ居れりとの報あり

●一進會內訌　一進會員中尹始炳、兪鶴柱等の二氏に仍て代表さるゝ元獨立協會派と李容九氏に仍て代表さるゝ元天道敎派と宋秉畯氏に依て代表さるゝ通辨派とは同會が政權に接近せし以來如何なる故にや一致の行動を欠くの傾向ありしが此頃に至りては前記三者間に暗闘を始め軋轢反目の狀を示しつゝありと云ふ

海圖になき暗岩

過日孤島附近にて滊船嘉義丸が暗岩に觸れて難破したる由なるが右暗岩は海圖に記載なきを以て吳鎭守府より一般航海者に暗岩の位置に就いて左の如く通知ありたり

一、小島の鼻と屋形岩燈臺は百二十分

一、屋形岩燈臺と金輪島「トウ」石鼻は六十六度三十分

而して岩上大抵潮時の水深約一尋半附近約半鍵の間は約二尋半乃至三尋なり

●憲兵の急行　海州を距る西方八里康領附近暴徒徘徊すとの飛報に接せしかば仁川分遣所より憲兵上等兵二名昨日同方面に鎭撫のため急行したり

●徵稅と暴徒　忠淸北道淸州、黃澗、報恩及靑山等各郡地方は暴徒の出沒頻りなく良民を威嚇し金品を掠奪すること少からず尙州財政顧問分遣にては該地方の本年作伕を調製するに際し之が爲に非常の困難を經たるが漸く去月中旬を以て右作伕の調製を終へたるも面長、公錢領收員等は暴徒の難を怖れて徵稅に着手せずされはとて暴徒鎭定の時期も豫測し得ざるより松永財務官補は尙州守備隊長山內少佐に就き暴徒討伐の事を交涉し隊長亦た快く之を承諾し先づ密偵を放ち其情況に應じて更に派兵の事となりたれば本年作伕の徵收も漸次良好なる結果を得べしと云へり

●賊作伕文簿を奪ふ　慶尙南道延豊郡勉儀面にては本年度作伕の爲め雇員安用禹を巡回せしめあるとき同面五佳洞に於て約五十名の暴徒各銃劍を携へて中山洞考卜所に闖入し前記雇員安を捕縛し文簿を掠奪し去りたるが安は隙を見て山中に逃遁し幸に無事なるを得たるも文簿は回收するを得ざりし旨報告あり

●暴徒の秋稅掠奪　去月廿八日暴徒約五百名慶尙南道丹陽郡に侵入して各面長及里長を捕へて甚しく脅迫を加へ終に邑面、東面、南面、西面、造山面、新也面等の全部並に北一面、北二面等の一部秋等戶稅を徵收奪掠し去りたる旨晉州財務官の報告ありたり

四日間の追擊

豫て出張中なりし榮川守備隊熊澤小隊は十二月二十五日小川面縣洞において賊約八十と衝突し之れを攻擊して醴泉方面に潰亂せしめたり賊の死八傷十五にして火繩銃六を獲たり

廿六日は三陟郡般生野において邊鶴基の指揮する賊徒約百二十と會し直に攻擊に移りたるに賊は死者十傷者九名を出して蔚珍方面に潰走せり

二十七日蔚珍郡湯寶附近にて邊鶴及び鄭の率ゆる賊徒約七百宿營しあるを偵知し午後十一時之れを夜襲して大打擊を加へたるに賊は死二十傷者十餘名を出し賊の部將四を捕へ火繩銃四十二火藥五十キロを獲たり

二十八日は前日夜襲せし賊を追擊し蔚珍郡巳實附近において約六百の賊徒を擊破したり賊の死二十二火繩銃八を鹵獲す小隊は尙此賊を追擊し午後四時同郡搭實に達せしときに成の率ゆる暴徒約百二十名と出會して之を攻擊し火繩銃九雜品多數を鹵獲せり

廿九日小隊は尙賊を追擊し奉化郡斗內に約百餘の賊徒潛匿せるを探知し午前三時之れを夜襲して潰亂せしめたり賊の死者十九名傷者數名を出し火繩銃十七火藥十キロを獲

三十日榮川に歸着せり

賊團藝場を襲ふ

一昨五日夜十一時頃纛島支所園藝摸範場所在地にして東大門より約二里の所に暴徒約三十名來襲し巡檢二名村民二名を拉去し支所を破壞し水道工事に從事する日本人男一人を殺害し婦人一人に負傷せしめ逃走せるが由六日午前六時村民警務署に急報したれば騎兵隊は直に急使を出し龍田警部は總巡一名巡査四名巡檢五名を率ひて現場に急行したり

水原の暴徒

振威驛西方一里水原郡ヤンシンキに暴徒約十五名來襲せる由土民の報導に接し守備兵五名討伐に向ひ同驛分派所よりも巡査二名巡檢二名を附隨せしめたり

銀坡の暴徒

銀坡憲兵分遣所が砂利院の憲兵分遣所と連絡を取るの目的を以て郵便物の護衞を兼ね去る一日上等兵尾田林平以下三名北豫約會同地に至らんとせしに同日午前十一時頃一行が銀坡の西北方約一里の地に達せしとき銀坡方面に當りて二發の銃聲を聞きしより路傍の高地に登り銃聲の方向を望見するに別に異狀を認めず偶銀坡方向より來れる韓人に就て聞けば暴徒は居らずと答ふるのみにて要領を得ざるまゝ進行中銀坡方面に於て閧の聲聞へ又一韓人銀破方向より馳せ來り昨今銀破在留日本商人宅に暴徒約四十名來襲し家財を强奪しつゝある旨言語手眞似にて告げたるにより一行は急進し銀破西北方約千米突に達せし時銀破面南端の柳樹下に黑衣を着したる暴徒と認むべきもの約十名現はれ一行に對して射擊せしを以て一行は尙急進して約八百米突に達し射擊を開始し漸進せしに暴徒は數川方面に逃走せり此の時銀坡の中央に方り盛んに黑煙の上るを認む同行の郵便遞送人は銀坡に入らず迂回して砂利院に至らしめ一行は銀坡に進入せんとせしに又も以前の地點柳樹下に約三十名の暴徒集合しありて一行に對し頻りに射擊せるより之に應射しつゝ約四百米突の地點に達せしに暴徒は强奪品の一部を棄てゝ同しく數川方面に遁走せしにより暴徒の强奪に係る散亂物品收容しつゝ銀坡に引返したるに銀坡在留日本人雜貨商大塚文九郎の家屋は半燒となり暴徒に强奪せられし殘餘の物品數點衣類及び書類は戶外に散亂し居れり一行は收容したる物品及大塚の雇人及び韓人一名及び銀破の村長をして保管せしめ置きたり此の日大塚家にては午前十時頃に暴徒來襲したるを以て家族五名は直ちに鳳山街道を砂利院方面に避難したる徒は其留守宅に押入り衣類及び貴重品を强奪し殘餘の物品は毀損し家屋には放火し去りたるなりといへり而して玆に來れる暴徒は約五十名にして洋韓銃とも約十挺を携帶し全員黑衣を着用し居たるも何れの者なるかは不明なりといへり此日一行中の尾田上等兵は終日雪中を行動したる爲め兩足の指凍傷に罹れりと

●暴徒巡檢を殺す　去る一日麻田郡河新面章谷里斗日場に於て麻田郡巡檢韓鎬なる者暴徒四五名の爲めに拿去せられ又同日同村に於て市場商人三名暴徒二十名の爲めに金三百六十圓及び木綿帝駄を掠奪せられたり而して韓巡檢は殺害せられ其の死體を發見せり其の創傷は頭面に三個の貫通銃創ありしと

諸官署の納品に對する下附金の延滯に就て

民間より諸官廳へ納付せし物品に對しては其の下附金は成べく迅速に取運ぶべきは行政事務の敏活を期する上より見て當然の事ならんも往々延滯勝となり商人等の迷惑實に夥しきものなるが其が理由とも見るべき二三の事項を摘記すれば第一には下級行政官吏の多くは近世會計規則に通曉せぬ一事なり是れ多くは韓國人官吏に見るの通弊にして第二は豫算の有無を深くも取調べずして漫然注文書を發し下金の一段となりて初めて之が不足を發見し平然下金延滯の言渡しを命ずる事第三は收賄を欲するの餘り强いて下金を遲滯せしめ暗に賄賂を諷刺する杯隨分如何はしき事柄が理由となりて遂に下金の延滯となるが十日二十日の遲滯とならば格別苦情の種ともならぬ筈なれど延滯期間の短きは一二ヶ月長きは六ヶ月以上にも亘る事ありては啻に商人等の不便を來すのみならず延いては資金の融通をも阻害する事なれば經濟上風敎上一日も早く斯る弊風は一掃ありたきものなり

殊に下級官吏が如何にして資金は融通するものなるやを解せぬに至りては實に驚く斗りなり一例を擧ぐれば彼等は思へらく商人等一割の利益は何ヶ月を經過するも一割の利益たるを失はずと心得る一事なり而して其の眼中には毫も下金の遲速を措かざる如くなれども豈計らんや一萬圓の資金が月三回運轉すれば一ヶ月三萬圓を投資したると同一結果となれば一萬圓に對する一割の利益は運轉の遲速に由りては三萬圓に對する一割の利益なりとの理を知らざるなり況んや下金にして迅速に回轉せんか商人にありて一割の利を得んと欲する者も下金の具合にて三歩の利益にても滿足する事となる是に反して下金二ヶ月に亘ると豫想せんか勢ひ二割以上の利益を見ざれば資金の融通上引合はざるを以て隨て請負代金の如きも自然高價に上る故官民共に下金の遲速は經濟上非常の影響を來し双方の不利益此の上もなき事なれば職に上級にある者は深く此の點に留意し下金の如きは成べく速に取運ぶ樣注意ありたきものなり若しそれ吾人の警告にして不幸にも實行の運びを見ざらんか前項に指摘せし事實を有るが儘に紙上に列記し普く世に糺さずんば已まざるなり

●北韓の釀造情況　北韓地方に於ける淸韓人燒酎釀造の情況を調査せし者を聞くに其支那人の釀造如何と云ふに安東縣及び虎下山に現在三ヶ所の釀造所あり何れも規模廣大にして北韓地方に輸出するを第一の目的とし一年中の製造額は各約七百石內外(一提十七錢五厘一提は我四合位)とし之を我が日本桝に換算すれば一升平均四十五錢乃至五十錢位にて何れも義州方面より北韓一圓に輸入されつゝあり近頃韓國側にて義州に日淸韓三國人の共同業として三興酒造會社なるものを起し日本人秋山某之が牛耳を取り以て大釀造をなし幾分にても淸國釀酒の輸入を防がんと計畫中なり韓人の嗜好は一般に支那酒が先入となり之を愛用する傾向あれども暫く競爭して之に堪へ得るときは將來發達の見込十分あり而も淸國人は原料其他總てに於て安價に之を供給し得るの便あるを以て之と競爭するは困難ならんとの事なり

●橫山仁川助役　は昨日龍山に出張せり

●辭令

任統監府屬八級俸　柳田哲太郎

依願免本官(十二月六日)

仁川驛 貨物係の不埒

輸送事務の不公平
不正運送屋と結託

何れの停車場を問はず其驛員の間に種々の弊害あるは常に見る所なるが仁川驛中貨物取扱者が不正運送業者と結託して不公平なる事務を執り一般善良なる運送業者に迷惑を掛けつゝある事は夙に吾人の耳にする所なり然るに某新聞に於ては仁川運送業者の內幕に關し痛切なる筆尖を呵しつゝあるは吾人の贊同する所なれども吾人の知る所より之れを觀れば運送業者中不正の徒輩あるは明なる事實なるもこれを以て一に運送業者を罪するは未だ當を得たるものといふべからず即ち百尺竿頭一歩を進めて彼等不正運送業者が如何にして惡事を働くか彼れ等を幇助して惡事を働かしむるものは誰れか、否彼等が惡事をなすの相棒は何者ぞてふ事を探査せば蓋し思ひ半ばに過ぐるものあらん、依つて吾人は數日來此れに關して具体的事實を探査し得たるを以て數日後の紙上より之れを發表し彼等一味の不正漢に誅戮を加へんと欲す、乞ふ數日後の紙上に見られよ

仁川商況

▲麥酒其他洋酒類　麥酒の需用は夏季にあるを以て冱寒中は賣行殆んど皆無の有樣四月以後となりては逐々季節に近づきたることとて日を逐ふて好況を呈し五月に入りては京釜、京義の沿道其他沿岸諸方面より續々注文入り込み他商品の不況なるに拘はらず眼先好況を呈するに至れり六月以降七八月三ヶ月は尙は需用季にある事故賣行好況を呈し九月に入りては稍賣行を減じたるも尙殘暑の候にて需用相應に之れあり賣行可なりに好況を呈したり

▲石炭コークス　本品は例年十一月下旬より三四ヶ月間は其賣行を增加するを常とす左れば一月より四月までは滊船用工場用等の外に暖爐用として其需要を增加し賣行きの相當に行はれ五月以後六月以降に至りては暖爐の需用は皆無となり賣行き著しく減少し唯沿岸航行の滊船又は工場湯屋等の燃料に供給するに止まり賣行き冬季に比して減少せり

●光濟號の入港　北韓に通航中なりし光濟號は一昨夜仁川港に入港せり

兵分遣所より龍湖島憲兵分遣所へ轉勤を命ぜられたる憲兵六名を搭載して

男六十七女三十名にして其重なるものは李總理宋農相李宮相閔侍從院卿李主殿院卿李

●近藤郵船仁川支店長　近藤郵船仁川支店長は昨日群山丸にて事務視察の爲め群山に赴けり

宮殿伺候者



「無限の熱血」を讀む　九

鉛陵生

鳥は双翼を具へて始めて空を翔り、車は兩輪を保ちて始めて道を廻る、君は善良なる婦人を迎へてより以來寮務何に具れとなく一層圓滑に步を運び、殊に貧兒孤兒等は夫人が我が慈母よりも惠深き高恩に悦みけるが折柄時は明治二十七年我が政府と淸國との外交談判は端なくも爰に破裂を告げ戰機韓山の一方に閃きしかば、君は同年七月廿四日豫備の任として熊本師團より出征するに至りたるが、イザ去るに臨み告別の辭を述ぶるや幾多の頑是なき可憐可愛の貧兒等は君が身邊を擁し、君が手足に縋り、慟哭號泣涙は瀧と流れ、聲は悲嘆の曇りを帶び惜別の情飽くを知らざりしが、君は漸く之を慰さめ必ず後日は凱旋功名して歸るべきに依り、又の逢ふ日を樂みにして待たれたく、夫れ迄は寮母を賴りに勉强せられよと我れから聲を勵ませしも、心の苦痛は譬ふるに物なく、思ひは同じ惜別の辛らき情に思はず戎衣を霑ほしにき。

斯くて君は社稷の安危を双肩に荷ひ、雄姿颯爽、廿八年一月一日日本を船出し愈々出征の途に上りぬ、固より肥州男兒の剛膽勇邁なる眼中既に敵なく轉戰數十回每時敵軍を突破して殊功を奏し特に威海衛、旅順口等の苦戰には他隊を壓して目醒ましき功績を顯はせしが、君も亦隊中の勇者として目せらるゝに至りぬ「爾來滿一ヶ年戰局爰に終りを告け、目出度我皇軍の勝利に歸するや、君は戰功に依り勳八等白色桐葉章及び金百圓を授けられ、二十八年七月八月凱旋の光榮を双肩に負ひ萬歲歡呼の裡に無事鄕里熊本に歸り來りしが、一家の喜びよりは貧兒等の喜び譬ふるに物なく、雀躍抃舞欣然として措く所を知らざりき、されば曾者定離の譬への如く、君が悠然として戰塵に汚がれたる戎衣を脫ぎ思ひ掛けなき生還と、貧兒の悅ぶ態とを見て一時快心の感に滿ちし君の心は忽ちにして悲風寂しく吹き暗雨瀟やかに降る境に陷りぬ、开は君の慈父が君が出征中一朝溘然として無涙の國に逝けると、又君の嬰兒が產後の肥立あしく我現在の父の顏をも知らず●て幽冥境を異にせる世にも墓なき事なりしなり、君が悲嘆の名狀するに物なく、其の安樂堂の正面に相並べる二個の位牌に取縋りて浮世の無情を喞ち流涕滋然唯に世をば悲觀せしが、又翻りて思を取り直し、固より一身を犧牲に供せし我身は其の間如何なる支障艱難の湧出するも斷じて困頓挫折を來たして如何なるべき況んや身は是れ畏くも北白川宮殿下の恩波を受け、且つ江湖志士仁人の同情を蒙る、宜しく發奮激勵、將來の良績を

擧げ以て上下の恩惠に報ひざるべからずと決心し爰に一苦を排し、一難を經る毎に君が心は益々堅確となり行きぬ

仁川商業界の爲めに悲む

大賣出しの紛擾　遂に解決の餘地なし

仁川に於ては今春三月の大火以來商況不振に陷り此れが挽回策に就ては識者間に種々畫策中なりしが十一月に至り愈々大火災地以東の商人は相計りて商業興振會なるものを組織し大々的景品付大賣出をなしたるが其結果非常の好景氣を得、さしもに淋れたる店頭も人足繁くなりたるが一方日本町側商店は忽ち之れが影響を受けたるにより藤木、井上、末永等の諸氏發起となり歲末聯合大賣出しなる景品賣出しをなすべく其筋に請願したり然るに其筋に於ては今之れを許可せんか茲に東西兩派分立して競爭の結果を來すべく、かくては今迄圓滿に治まり來れる仁川商業界に波瀾を起さしむるやも計り難ければ右興信會と共同組織の下に之れを許可するに至れり依て兩派委員は再三會見して提携案件につき協議し將に圓滿なる解決を見るに至らんとし興振會側に於ては只聯合會の回答を待つに至りたるが何事ぞ其翌日聯合會に於ては興振會に何等の回答をなさず樂隊をして市中を練り行かしめ新聞紙上に大々的廣告をなして單獨行動を取るべく明に興振會に向つて排戰の氣勢を示せり、然るに興振會側に於ては其當日將に相提携すべき回答ある事を期待せしに圖らずも聯合會が意表の行動に出てたるを憤慨し之れ即ち吾等新日本町側の商人を侮辱したる所爲なりとなし其善後策につき寄々協議中なりしが兩者の間に仲裁者人り殊に商業會議所會頭潁原修一郎氏の如きは專心奔走調停を試みたり茲に於て兩派委員は一に潁原氏の斡旋に委ね遂に今日に至りたるが兩派の主張は相容るゝの餘地なく潁原氏は遂に左の如き通牒を兩派委員に對して送付したり

拜啓

商業興振會及び實業聯合會調停之儀に付ては其後各自相談の上にて合同致さず各別に獨立の行動を取ることに相成り理事廳警察署に於ても兩會の行動に就ては別に中止致さゝることに相成り候由に付折角御依賴申上候得共最早調停の必要を認めざる樣相成候間右樣御承知被下度此段御挨拶迄得貴意候頓首

明治四十年十二月五日　潁原修一郎

吾人は今遽かに新日本町側（興振會）の云ふ所を信せんと欲するものにあらず又日本町側の主張を以て直ちに正當なる理窟として此れを容るゝ能はず即ち兩派主張の正否は今茲に言明せすと雖も永年圓滿なる發展をなし來りたる仁川商業界に以上の如き分裂を見るに至りたるを悲むものなり兩會諸氏仁川將來の發展に鑑みて相顧みるの度量なきか

●熊本貧兒幻燈會　同寮員は五日永樂町一丁目菊池議長氏の招きに應じ午後八時より同氏の宅に於て幻燈會を開催せしが菊池適氏說明演說を爲し渡邊尙廣氏機械を取扱ひ間々北白川宮の御詩並に天龍に達せし歌杯は渡邊氏之を吟し大に喝采を博し同九時閉會したり同夜は菊池氏並に來會の人々より金二十五圓三十錢の喜捨ありしと云ふ

●日韓商工人名錄發行　東京實業興信所に於ては日本銀行其他有力なる實業家の贊成を得日韓滿に涉りて彼我商工地誌を始め商工業家の住所氏名營業種目商標所得稅額營業稅額、銀行會社の種別及び經濟上有益なる諸種の統計其他各地の產物商品の種類に至る迄實業に關する必要の事項を記したる日韓商工人名錄と題する書冊を編纂發行することゝし各府縣に社員を派し調査中の由て尙當地には武井敬次郎氏特派せられたり

月は我等の大恩人

ハーヴアド大學のピッカーリング教授がこう云ふことを云つて居る

抑々月と云ふものは、元來地球の一部をなして居たのであるが、地球が未だ今のやうに固まらず、星雲の狀態にあつた時分、今の太平洋の邊から別れてあのやうな月となつたのである。其だけの話では何のこともないやうに思はれるかも知れぬが、今のやうな、月あれより大きくもなく、小さくもなく、丁度あの通りの月が出來たからこそ地球は今のやうな有樣を呈し、我等の生息に適するが、若しそうでなかつたなら大變だつたのである。と云ふのは、若し月が全然地球から別れて行かなかつたとするか、若くは月が地球の皮殼を殘らず持つて行つたとすれば、地球は恰度、今の金星の樣に全然水で蔽はれて居たであらう、假りに左樣だとすれば、人間は海底の魚以上の進步は出來なかつたであらう、若し又月があれよりも小さいか大きいか孰れかであつたとすれば、地球の大陸は、ずつと小さくなつたらうし、從つて人口は極端に少ないか若くは過多に陷るか孰れかに歸着したであらう、故に、月は我等の大恩人である。

●商號使用禁止の訴訟　仁川早川茶舖主人早川繁太郎は仁川京町二丁目鍋島庄作が同しく早川茶舖の店號を用ひ居るを憤り某々新聞に廣告をなしたるが鍋島は自分の使用する早川茶舖の商號は既に登記を經て正當なるものなるに不拘早川は却て自己の商號使用し居るものなりとして此程早川を相手に取り商號使用禁止の訴を起したり此れ仁川理事廳開けて以來商號上の訴訟の濫となす

●言語不通の爲め　本町一丁目荒物商辻本嘉三郎方へ昨日午前九時頃韓人裴布石（二十）といふ者買物に來りしに同店雇人新築吉（十九）が夫れを賣買上言語不通の結果濫りに憤怒し密柑箱の蓋を以て同人を毆打し上居に微傷を負はせ韓人はこれに激怒して警察署に駈け込み告訴するなど騷擾を釀し一時人山を築きたりしが事實は件の如し

●毆打犯人料理屋にて發見せらる　兵庫縣神戸市東川崎平民にて龍山大林組永井某方に滯在する粟田富五郎（三十）は去る一日龍山兵營建築工事場大林組永井某方に於て龍山櫻町居住沓見消二郎を毆打し負傷せしめ其まゝ逃走せしが四日京城新町の淸月樓に潛伏し居るを本町警察署の知る所となり取押へられ昨日取調を受けたりといふ

●坂本座の琵琶歌　目下坂本座にて興行中の若葉會一行の新演劇は當地にては馴染のこととて每夜好評を博しつゝあるが本日は大倉桃郎作の琵琶歌を演ずる由重なる役割は左の如し

武田正次（岩尾）アバ熊（池田）村長伜覺太（花井）荒井三藏（千鳥）醫師山井（若宮）はげかま（吉田）母だたつ（橘）令孃花浦菊枝（高木）西村禮太郎（永島）江島春濤（正月）武田貞二（小喜多村）看護婦山村（小山）妹里野（東）西村妻あや子（淺井）地頭幸吉（瀬川）家扶三大夫（鈴木）

第四回決算報告

貸借對照表

借方

科目	金額
定期預金	一六四、〇六四・九八〇
當座預金	五、四三五・七八〇
組合員	三七〇、二五〇・〇〇〇
家屋	九六二・八八〇
什器	五五一・九一〇
立替金	九七・一八〇
假拂金	五二六・〇〇〇
現金	五一三・二三〇
合計	五四二、四〇一・九六〇

貸方

科目	金額
基本金	一六〇、〇〇〇・〇〇〇
積立金	五、〇〇〇・〇〇〇
保證手形	三七〇、二五〇・〇〇〇
前半期繰越金	三五・二八五
當期純益金	七、一一六・六七五
合計	五四二、四〇一・九六〇

損益計算書

利益之部

科目	金額
加入金	三八・〇〇〇
手形用紙代金	四六・四四〇
保證料	四、三〇〇・九〇五
預金利息	四、八四八・五四〇
雜收入	七三・八一五
合計	九、三〇七・七〇〇

損失之部

科目	金額
營業費	一、七〇三・一八〇
前期保證料	四七九・八五五
雜損	七九・九九〇
當期純益金	七、一一六・六七五
合計	九、三〇七・七〇〇

利益金處分

一金三十五圓二十八錢五厘　前半期繰越金
一金七千百十六圓六十七錢五厘　當半期純益金
合計　金七千百五十一圓九十六錢
內
金六千圓　積立金
金八百三圓　役員及事務員賞與金
金三百四十八圓九十六錢　後期繰越金

右公告候也
隆熙元年十一月

漢城手形組合

電話●開通●貳貳八番●

一陸送運搬請負

今般電話開通致候に就ては親切叮嚀を旨とし御便宜を計り精々勉强仕候間舊に倍し御用命の程伏て願上候

京城南大門外一丁目

姫野荷馬車部

貴金屬類 印章彫刻 水晶篆刻 ゴム印製造

京城本町一丁目

竹下萬祥堂

日韓病院

一般患者之依賴に應す

京城新王城大漢門前

院長　橋本三男
醫員　吉田定見
同韓國軍醫　蔡永錫
藥劑師　濱口源太郎
會計　井口平治
隔日出張　龍山青木病院長　青木清六
入院隨意

開業廣告

肅啓寒氣漸ク相加ハリ候處各位益々御隆昌之段大慶此事ニ奉存候陳者弊社儀今般當地ニ支店ヲ設置シ本月五日ヨリ開業仕候間何卒相當ノ御用命御仰付被下度御懇願申上候營業科目其他ハ左ニ揭記ノ通リニ有之充分各方面トノ連絡ヲ圖リ專ラ確實迅速ト御便宜トヲ旨トシ着々經營ヲ進メ度微意ニ御座候得者幸ニ右御高含ノ上長久不斷ノ御眷顧ト御指導ヲ賜ハランコ渇望ノ至ニ不堪候　敬具

追テ營業其他ニ關スル詳細ハ當支店ヘ御下問被成下度候

韓國倉庫株式會社

本店　韓國釜山佐藤町二十二番地
仁川支店　韓國仁川港本町三丁目七十番地　電話番號八十四番

支配人　原信太郎（事務所內住居）

營業科目
一　倉庫業
二　運送業
三　以上の目的を達するに有益又は便利なる業務

資本金　貳百萬圓
本社　釜山
支店　仁川、京城、大邱、平壤、木浦、群山、鎭南浦、元山
出張所　東京

相談役　男爵　澁澤榮一
相談役　大倉喜八郎
專務取締役　佐々木清麿
取締役　室田義文
取締役　大橋新太郎
取締役　賀田金三郎
取締役　中山希賢
監査役　早川鐵治
監査役　尾高次郎
監査役　迫間房太郎
監査役　大池忠助

內外書籍新聞雜誌

和洋雜貨日用品

文房具學校用品

大阪朝日新聞　一ケ月四十五錢
同　每日新聞　一ケ月四十五錢

京城本町三丁目

丸平　平田商店（電話百十五番）

業務擴張廣告

謹啓各位愈々御清穆奉敬賀候降テ弊店儀開業日尙ホ淺キニ不拘諸彥ノ御引立ニ依リ日ニ増隆盛ノ域ニ相進ミ候段難有奉鳴謝候就テハ今回東京ヨリ斯業ニ精通セル職工數名ヲ雇ヒ入レ洋服一式廉價ヲ旨トシ御注文ニ應シ可申候間多少ニ不拘御用命被仰付度奉願上候也

東　鳶コート　脊廣服
毛布類　各仕立物
毛織物
文官服　醫官服
刀劍類　付屬品

商　原雄吉

東京塚原支店

京城明治町一丁目

開店廣告

神佛葬具請負並ニ佛具販賣

御一報次第直ちに參上仕諸事御引請御調達可申候

京城旭町三丁目（十全病院隣）

左文字屋

廣告

往診午前
宅診午後

但し急患者は隨時往診
入院隨意

京城貞洞大漢門前

蘇生病院

會席御料理

並に仕出し大勉强仕候

京城本町座隣
電話六三〇番

蝶々

丁稚入用

但十才以上十五才迄

京城本町一丁目（郵便局前）

若林支店（電話一四七番）

原金旅館

本店　仁川理事廳通（電話三二番）
支店　京城南山町（電話一〇七番）

開店一週間

十二月五日より

廣告　景品付

弊店釀造清酒櫻正宗印義享保年間創釀以來玆に二百有余年其間專心釀造の改善と品質の精選に努力仕り結果以御蔭其品質の醇良にして名聲の嘖々たることは普く江湖諸君の熟知せらるゝ所となり日に月に益々販路擴張の域に進み候段只管鳴謝の外無之候就ては益々顧客の御便利を圖り度今般當地に支店開設仕り櫻正宗印並に櫻魂印正吉印稻豐印をも發賣仕り候右三種は櫻正宗印と同一釀法に係り各其特色を有し居候各位の御嗜好に適し可申候に付何卒此上御倍舊御愛顧引立の程奉懇願候

京城南山町四丁目

山邑京城支店

營業科目
清酒　櫻正宗印　櫻魂印　正吉印　稻豐印
麥酒　キリンビール
味淋　櫻味淋
醬油　關東產　播州產各種
奈良漬　櫻印奈良漬

支店
釀造元　攝津灘魚崎　山邑本店　電話七番
釜山西町四丁目　山邑釜山支店　電話三〇一番
釜山南濱町　山邑支店南濱出張所　電話四六八番

仁川特約店　**酒井支店**　仁川本町四丁目　電話五番
京城特約店　**酒井政平**　京城本町五丁目　電話六四番

京城博覽會一等金牌受領

純良醬油

商標　登錄

釀造元　大阪府堺市　戸川源之祐

發賣元　韓國京城　戸川京城支店（電話六二九番）

特約販賣店
京城本町二丁目　本田滿壽男（電話四八番）
京城本町四丁目　前田喜聰（電話一三七番）
京城明治町一丁目　唐川立造（電話二六一番）
京城南大門通り　村田源次郎（同二五三番）
水原　德永仙吉

熊平製造金庫

東京　竹內製金庫
大阪二重放並ニ回轉式　消火器

韓國販賣部
京城本町二丁目

熊平商店

電話六二四番

日本郵船株式會社仁川出帆廣告

電話十番

貨物及船客取扱店
仁川海岸通　郡回漕店　電話三九番
京城南大門通　巴商會　電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行
山東丸　十二月二十二日後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
浦汐丸　十二月十四日後三時出
第一オハヨ號　十二月廿三日後三時出
●大連、大沽行
酒田丸　十二月卅一日後一時出
●大連行
營口丸　十二月十五日後一時出
高砂丸　十二月三十一日後一時出
●大連、秦皇島行
山東丸　十二月十七日未明出
●鎭南浦安東縣行
第一オハヨ號　十二月二十日後三時出
浦汐丸　十二月十一日後一時出
●釜山出帆、元山、城津、浦鹽行
弘前丸　十二月十一日

御注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事

人力車營業

明治町一丁目

京城組

電話九四二番